



秋の花粉症と稲刈りの鼻炎

医師 田中 いつみ



花粉症というと春のスギやヒノキを思い浮かべる方が多いですが、実は秋にも花粉症があります。代表的なのはブタクサやヨモギ、カナムグラといった雑草で、ちょうど稲刈りの時期にあたる 8 月下旬から 10 月頃にかけて花粉が飛びます。症状は春と同じく、くしゃみ・鼻水・鼻づまり、目のかゆみなどです。風邪と似ているため気づかれにくいのですが、「秋の鼻炎は花粉症かもしれない」と知っておくことが大切です。



農作業をされる方からは「稲刈りをすると鼻水が止まらない」「目がかゆくて作業が辛い」という声をよく耳にします。実はこれは稲そのものの花粉ではなく、刈り取った稲わらの細かい粉じんやホコリ、カビの胞子が鼻や目を刺激することが主な原因です。そこにちょうどブタクサやヨモギの花粉が重なり、症状が強く出やすくなるので

す。田んぼや畑の周りに雑草が多い環境では、特に影響を受けやすいといえます。



予防には、マスクや眼鏡を着けることが効果的です。作業で汗をかいたマスクは途中で交換するとより安心です。帰宅後は衣服や髪についた花粉やホコリをしっかりと払い落とし、うがいや洗顔を習慣にしましょう。脱穀や乾燥機の作業では粉じんが多く舞うため、できれば使



い捨てマスクやゴーグルを利用するとよいでしょう。毎年この時期に鼻炎が出る方は、抗アレルギー薬を早めに飲み始めると症状が軽くすみます。「今年もそろそろ稲刈りだな」と思ったら、体調を崩す前に一度ご相談ください。

実りの秋は農作業が忙しく、体を酷使する季節でもあります。竜王の田んぼもほぼ稲刈りが終わった頃でしょうか。花粉や粉じんによる鼻炎のことを知って、しっかり備えていきましょう。





母のこと

看護師 宮井 由里子

私の母は昔で言う産婆さんでした。兄が小さいときは夜中に呼び出され、曜日関係なく妊婦さんの元へ走って行く母だったそうです。

私が産まれたら、産婆をしている母の姿は見たことがありませんでした。



その頃、小学校中学校掛け持ちで養護教諭もしていました。小学校低学年だった頃は、よく保健室で私は遊んでいました。と同時に近くの診療所でも働いていました。私の遊び場でもあった地域の診療所は目に映るものすべてが珍しく、消毒のにおいも好きで母と一緒によく行っていました。



家にも家族さんからの電話がよくかかってきて、母が対応している姿を誇りに思っていました。

そんな母親の姿を見て、私は他の職業のことは何も考えず看護師だけを目指してきました。

今、この看護師という職業に就けたことにととても感謝しています。お母さん、ありがとう。



医師の不在のお知らせ

【 9 月 】

- ・ 8 日 (月) 永嶋医師
- ・ 1 8 日 (木) 伊藤医師
- ・ 2 5 日 (木) ・ 2 6 日 (金) 清水医師

【 1 0 月 】

- ・ 2 日 (木) ・ 3 日 (金) 田中医師
- ・ 6 日 (月) ~ 1 0 日 (金) 木村医師
- ・ 1 0 日 (金) 中村医師
- ・ 1 1 日 (土) ・ 1 7 日 (金) ・ 1 8 日 (土) 雨森医師
- ・ 1 7 日 (金) ・ 1 8 日 (土) 田中医師
- ・ 2 7 日 (月) ~ 2 9 日 (水) 清水医師



育児相談外来を行っております

毎週金曜日の 1 4 : 0 0 から育児相談外来 (無料) を行っております。
詳しくはホームページをご覧ください。

マイナンバーカードで受付をお願いいたします

受付に 2 台 ・ かぜ外来に 1 台マイナ機器を設置しております。
マイナンバーカードでの受付をお願いいたします。

健やか教室 (糖尿病教室) のご案内

第 7 回滋賀県ダイアベティス (糖尿病) ウォークラリーが、
1 0 月 2 6 日 (日) 、福満公園 ・ プロシードアリーナ (南彦根駅より徒歩 5 分) にて開催されます。参加費は 1 , 0 0 0 円で、昼食が付いてきます。申し込み希望者はお早めに外来看護師にお伝え下さい。

